

# 昭和40年度 原子爆弾被爆者実態調査

## 基本調査の概要

厚生省 公衆衛生局 企画課

# 昭和40年度 原子爆弾被爆者実態調査

## 基本調査の概要

### まえがき

昭和40年11月に実施された原子爆弾被爆者実態調査は、昭和20年8月広島、長崎両市に投下された原子爆弾による被爆者の現在の生活、健康状況等を総合的に把握することを目的とし、基本調査、生活調査、健康調査等から構成されているが、今回は、このうち基本調査についてとりあえずその概要をとりまとめたものである。

この基本調査は、昭和40年11月1日現在全国に在住する原子爆弾被爆者の全数につき、被爆時の状況、被爆者の性、年齢、就業状況、婚姻の状況等基本的事項を調査したものである。

なお、生活調査、健康調査等については、日下集計整理を急いでいるところである。

### 調査の方法

調査の方法は、(ア)広島、長崎両市においては、昭和40年国勢調査地区ごとに全世帯について調査員が訪問して調査し、(イ)その他の地域においては、昭和40年10月1日現在の被爆者手帳交付台帳に基づき調査票を郵送し、最終的に無回答の場合は調査員が登録されている住所におもむき調査した。

なお、被爆者手帳の交付を受けていない被爆者についても、申し出により調査の対象とした。

### 調査の結果

#### 1) 被爆者数

被爆者手帳（以下「手帳」という）の交付を受けた者で調査に応じた者は232,412人であつた。調査当時の手帳交付台帳登録者数は274,619人であつたが、死亡、所在不明の事実が明らかになつた者21,440人を差し引いた手帳交付台帳登録者数は253,000人となるので、このうち長期旅行、不在の理由で調査に応じなかつた者約20,000人を除外すれば、登録者の91.8%が本調査に応じたことになる。

なお、手帳の交付を受けていないが被爆者である旨を申し出て調査を受けた者は、45,543人であつた。

以下、手帳の交付を受け調査に応じたものを中心に調査結果の概要を述べる。

#### 2) 被爆者の地域分布

広島市、広島県、長崎市、長崎県に在住するものが圧倒的に多く、202,341人で全体の87.1%、次いでその周辺県に多い。各都道府県別被爆者数は表1のとおりである。

#### 3) 性、年齢構造

男110,178人（全体の47.4%）、女122,234人（52.6%）である。年齢を5才階級別にみると、35～39才のものが最も多く、以下高年齢になるに従い少なくなつており、これは全国一般集団では15～19才のものが最も多く以下高年齢になるに従い少なくなつていいるのと異なつている。また、男については40～44才のものが著しく少

表1 都道府県別被爆者数(全被爆者)

	総 数	手帳のあるもの			手帳のないもの
		総 数	特別被爆者	一般被爆者	
全 国	277 955	232 412	160 325	72 087	45 543
広 島 市	100 246	80 864	63 424	17 440	19 382
広島県(除広島市)	51 756	49 513	31 274	18 239	2 243
長 崎 市	80 465	58 950	35 360	23 590	21 515
長崎県(除長崎市)	14 400	13 014	6 713	6 301	1 386
北 海 道	288	267	214	53	21
青 森 市	41	41	32	9	-
岩 手 市	72	72	61	11	-
宮 城 市	110	97	72	25	13
秋 田 市	16	16	14	2	-
山 形 市	75	74	61	13	1
福島県	96	96	67	29	-
茨 城 市	234	231	209	22	3
栃 木 市	150	148	127	21	2
群 馬 市	144	141	122	19	3
埼 千 東 奈	333	329	304	25	4
京 都 府	741	734	638	96	7
神 奈 川 県	3 147	3 106	2 730	376	41
新 潟 県	1 044	1 025	842	183	19
富 山 県	123	112	72	40	11
石 川 県	66	65	58	7	1
福 井 県	86	85	57	28	1
山 梨 県	143	137	109	28	6
長 野 県	54	54	27	27	-
	111	81	74	7	30
岐 阜 県	356	349	194	155	7
静 岡 県	426	422	343	79	4
愛 知 県	1 026	978	743	235	48
三 重 県	395	392	270	122	3
滋 賀 県	136	131	105	26	5
京 都 府	538	536	417	119	2
大 阪 府	2 449	2 385	1 998	387	64
兵 庫 県	1 613	1 595	1 263	332	18
奈 良 県	155	155	149	6	-
和 歌 山 県	256	254	102	152	2
鳥 取 県	390	390	297	93	-
島 根 県	1 754	1 668	1 125	543	86
岡 山 県	1 881	1 821	1 336	485	60
山 口 県	3 967	3 765	3 005	760	202
徳 島 県	262	262	236	26	-
香 川 県	528	510	422	88	18
愛 媛 県	1 068	1 059	745	314	9
高 知 県	165	162	100	62	3
福 岡 県	2 892	2 877	2 068	809	15
佐 賀 県	1 022	1 008	797	211	14
熊 本 県	1 336	1 072	779	293	264
大 分 県	509	508	473	35	1
宮 崎 県	442	419	352	67	23
鹿 児 島 県	448	442	345	97	6

注 特別被爆者とは、原子爆弾の放射線を多量に浴びた被爆者で特別被爆者健康手帳を有するもの。  
一般被爆者とは、特別被爆者以外の被爆者で被爆者健康手帳を有するもの。

なく、以下年令が高くなつてもほとんど減少していないことは特異である。なお、30才以下の者は比較的少なく、胎児被爆者は2,922人で全体の1.3%である。

4) 被爆状況

広島で被爆した者は153,613人、長崎で被爆したものは78,799人であった。これらのうち3km以内の直接被爆者は133,697人(全体の57.5%)、入市による被爆者その他間接的に被爆した者は98,715人(42.5%)となつている。

5) 健康診断受診状況

手帳交付を受けた被爆者に対して行なわれる定期の健康診断の受診率は、特別被爆者では73.3%、一般被爆者では48.5%であり、高年層ほど受診率は高くなつているが、男女差はほとんどみられない。

6) 就業状況

手帳交付を受けている被爆者について、年令補正した就業率によつて、全国一般集団と対比すると、全国一般集団にくらべ男はやや低く、女はやや高い。これは年令階級別にみても同様であるが、とくに女の高年令層は一般より高くなつている。

7) 就職、就業についての差別

就職、就業について「差別を受けたことがある」と答えたものは、6,003人で全体の2.2%であるが、特別手帳をもつ者では4,013人(2.5%)、一般手帳をもつ者では1,388人(1.9%)、手帳の交付を受けていない者では602人(1.3%)である。現在の就業状況別にみれば「仕事を休んでいた」「仕事を探していた」者では、それぞれ5.6%、6.2%となっており、「おもに仕事」「従に仕事」の者では、それぞれ2.0%、2.1%となっている。

8) 配偶関係

手帳交付を受けている被爆者についてみると、男については有配偶率、未婚率、離別率等は全国一般集団と差異は認められないが、女に

については全国一般集団に比較して有配偶率は低く、未婚率、離別率は若干高い。

9) 結婚についての差別

結婚について「差別を受けたことあり」と答えた者は7,193人で全体の2.6%であり、特別手帳をもつ者では5,304人(3.3%)、一般手帳をもつ者では1,212人(1.7%)、手帳の交付を受けていない者では677人(1.5%)である。現在の配偶関係別にみると、有配偶、死別のケースではそれぞれ2.4%、1.1%であるが、未婚、離別のケースではそれぞれ4.1%、5.7%、さらに年齢別にみると若年層、とくに未婚、離別のケースでは30才から39才の年齢層で高率になっている。

表2 被爆者の性、年齢構造(手帳のあるもの)

性、年齢階級	総数	手帳のあるもの			手帳のないもの
		総数	特別被爆者	一般被爆者	
総数	277 955	232 412	160 325	72 087	45 543
男					
総数	131 981	110 178	73 405	36 773	21 803
19才	1 420	1 143	812	331	277
20~24	13 063	10 685	7 202	3 483	2 378
25~29	8 905	6 901	4 467	2 434	2 004
30~34	12 890	9 987	7 034	2 953	2 903
35~39	21 046	17 086	11 586	5 500	3 960
40~44	8 606	7 121	4 769	2 352	1 485
45~49	10 746	9 094	6 201	2 893	1 652
50~54	11 119	9 420	6 280	3 140	1 699
55~59	11 015	9 449	6 188	3 261	1 566
60~64	11 573	10 143	6 447	3 696	1 430
65~69	10 519	9 346	5 998	3 348	1 173
70~	10 840	9 624	6 309	3 315	1 216
不詳	239	179	112	67	60
女					
総数	145 974	122 234	86 920	35 314	23 740
19才	1 508	1 218	878	340	290
20~24	14 399	11 908	8 052	3 856	2 491
25~29	9 581	7 597	5 227	2 320	1 984
30~34	12 414	9 798	7 090	2 708	2 616
35~39	21 714	18 236	14 050	4 186	3 478
40~44	17 975	14 937	10 797	4 140	3 038
45~49	13 441	11 029	7 655	3 374	2 412
50~54	12 588	10 547	7 205	3 342	2 041
55~59	12 102	10 481	7 311	3 170	1 621
60~64	10 423	9 225	6 459	2 766	1 198
65~69	8 549	7 576	5 303	2 273	973
70~	10 878	9 413	6 642	2 771	1 465
不詳	402	269	201	68	133

図1 被爆者の性・年齢階級別構造(全被爆者)

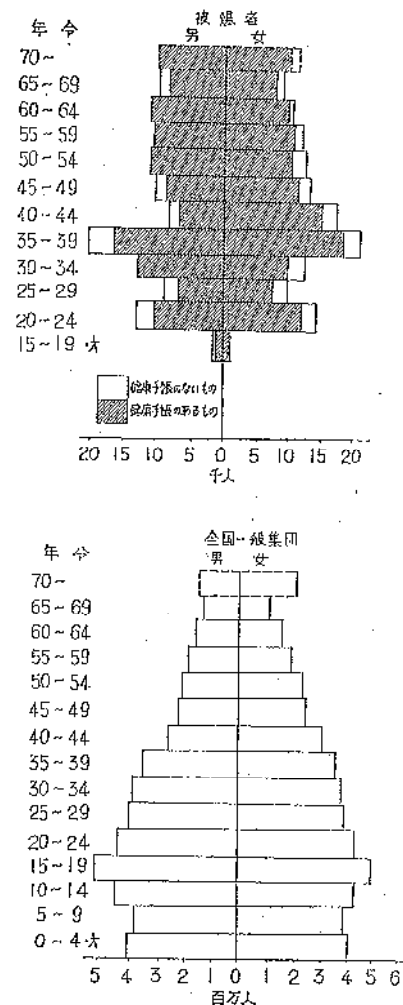


表3 被爆の状況別被爆者数及び割合(手帳のあるもの)

	総 数			被爆地広島			被爆地長崎		
	総 数	手帳のあるもの	手帳のないもの	総 数	手帳のあるもの	手帳のないもの	総 数	手帳のあるもの	手帳のないもの
総 数	277 955	232 412	45 543	176 005	153 613	22 392	101 950	78 799	23 151
1.5 km 以 内	41 362	39 159	2 203	29 981	28 725	1 256	11 381	10 434	947
1.5~3.0 km 以 内	101 593	94 538	7 055	76 649	72 309	4 340	24 944	22 229	2 715
入市その他の被爆者	135 000	98 715	36 285	69 375	52 579	16 796	65 625	46 136	19 489
	割 合								
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1.5 km 以 内	14.9	16.8	4.8	17.0	18.7	5.6	11.2	13.2	4.1
1.5~3.0 km 以 内	36.6	40.7	15.5	43.5	47.1	19.4	24.5	28.2	11.7
入市その他の被爆者	48.5	42.5	79.7	39.5	34.2	75.0	64.3	58.6	84.2

表4 被爆者の就業率(おもに仕事をしたもの)  
(全被爆者)

	全被爆者 (手帳のない ものを含む)	手帳のある 被爆者	全 国 一般集団
男			
粗 率	79.2	78.8	88.5
訂 正 率	82.2	82.0	88.5
20~24才	73.8	73.4	81.7
25~29	88.0	87.9	96.5
30~34	91.6	91.7	97.3
35~39	91.7	91.6	97.5
40~44	90.4	90.3	97.2
45~49	89.8	89.6	96.7
50~54	88.2	87.8	95.2
55~59	80.1	80.2	89.5
60~64	71.0	70.8	78.9
65~69	60.6	60.2	65.3
70~	40.4	40.4	32.8
女			
粗 率	37.2	36.9	34.5
訂 正 率	38.1	38.3	34.5
20~24才	60.3	60.9	60.3
25~29	33.9	34.5	32.9
30~34	33.3	33.6	31.5
35~39	40.5	40.7	36.7
40~44	41.6	41.6	39.2
45~49	44.4	44.0	39.0
50~54	40.5	40.6	33.5
55~59	33.8	33.6	27.4
60~64	27.2	27.0	18.0
65~69	22.0	21.9	12.6
70~	10.5	10.7	4.7

注 一般集団は昭和40年就業構造基本調査によつた。訂正率は一般集団の年齢構造に修正したものである。

図2 被爆者の年齢階級別就業率

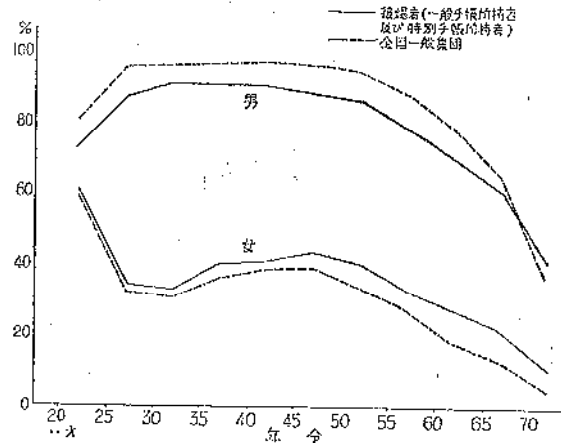
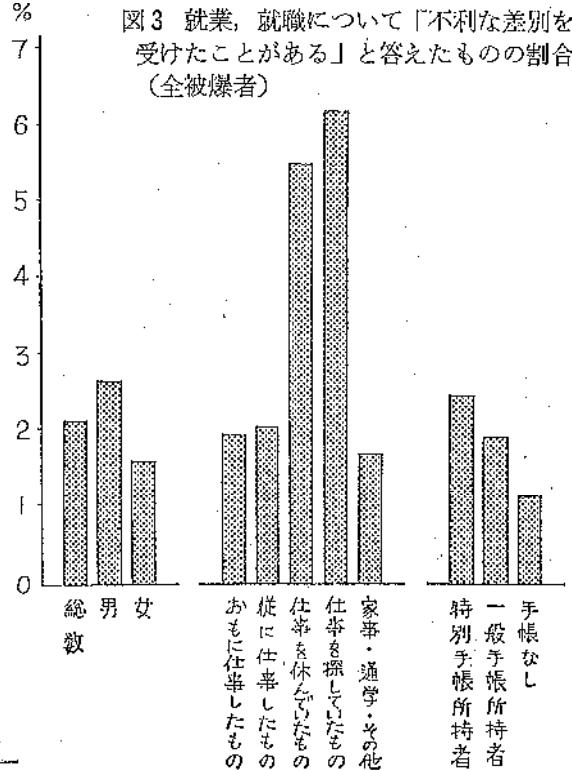


図3 就業、就職について「不利な差別を受けたことがある」と答えたものの割合(全被爆者)



(単位%)

表5 被爆者の配偶関係(割合)(全国一般集団との比較)

			粗率	訂正率	才 20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~
被爆者	未配 有死 離	婚偶 別別	男												
			14.3	23.2	90.9	50.5	10.5	4.0	2.6	1.3	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7
			19.8	72.8	8.8	48.9	88.0	94.5	95.2	95.7	95.5	93.8	90.4	85.3	73.6
			4.8	2.9	0.1	0.1	0.2	0.3	0.7	1.6	2.5	4.2	7.9	12.9	24.7
全国一般集 団	未配 有死 離	婚偶 別別	22.5	22.5	90.8	45.6	10.5	3.8	2.3	1.6	1.1	0.9	0.8	0.9	0.7
			73.0	73.0	9.0	53.9	88.6	94.9	95.8	95.7	95.0	92.8	88.7	82.2	65.5
			3.5	3.5	0.0	0.1	0.1	0.3	0.7	1.2	2.4	5.0	9.2	15.5	32.6
			0.9	0.9	0.1	0.4	0.8	1.1	1.2	1.5	1.5	1.3	1.4	1.5	1.2
被爆者	未配 有死 離	婚偶 別別	女												
			12.7	17.7	76.9	26.1	11.5	7.5	4.8	2.8	2.1	1.7	1.3	0.7	1.0
			63.0	62.7	22.5	70.7	84.3	85.6	83.4	76.5	68.0	60.3	51.7	39.3	20.6
			21.0	16.7	0.1	1.3	1.0	2.6	7.0	16.3	25.7	34.8	44.0	57.6	76.4
全国一般集 団	未配 有死 離	婚偶 別別	14.9	14.9	68.2	18.2	8.4	6.5	4.5	2.9	2.0	1.4	1.1	0.9	0.8
			67.4	67.4	31.4	80.4	88.6	87.5	85.0	79.2	72.7	66.4	57.3	43.3	19.8
			15.5	15.5	0.1	0.4	0.9	2.6	6.4	14.3	22.0	29.3	39.4	54.2	78.2
			2.2	2.2	0.3	1.0	2.1	3.5	4.0	3.6	3.3	2.8	2.1	1.6	1.2

注 全国一般集団の数値は、昭和40年国勢調査(総理府)1%抽出集計結果による。

図4 被爆者の年齢別配偶関係別割合

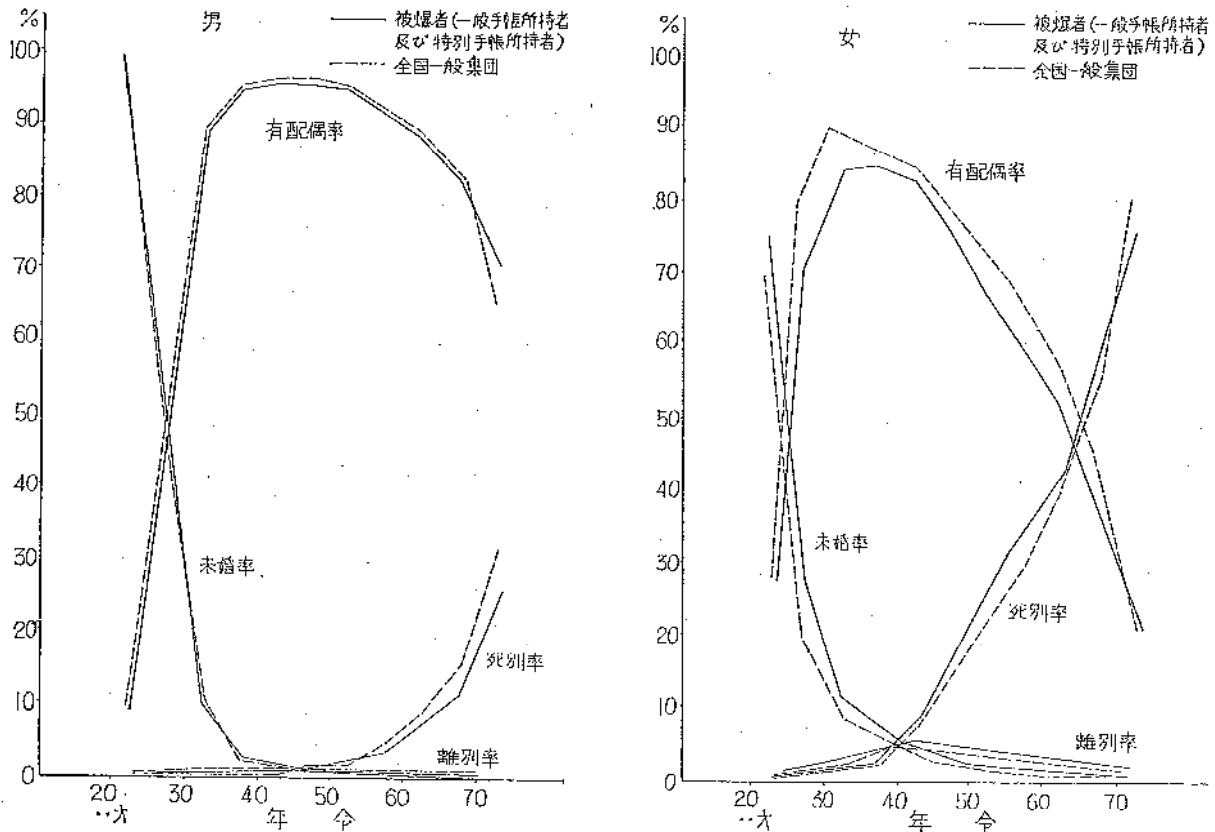


表6 結婚について「不利な差別を受けたことがある」と答えたものの割合（全被爆者）

	総数	未婚	有配偶	死別	離別
総 数					
総 数	2.6	4.1	2.5	1.1	5.7
19才	0.5	0.4	2.5	-	-
20~24	3.6	3.6	3.9	5.1	8.1
25~29	4.0	3.5	3.9	3.2	6.1
30~34	5.0	7.5	4.5	3.4	12.5
35~39	4.7	11.4	4.1	5.3	9.1
40~44	3.5	7.0	3.2	2.9	7.2
45~49	1.6	4.2	1.4	1.7	4.4
50~54	1.3	3.9	1.1	1.6	2.7
55~59	1.0	1.3	0.9	1.2	1.7
60~64	0.7	1.4	0.6	0.9	1.9
65~69	0.6	0.7	0.5	0.8	1.2
70~	0.6	-	0.6	0.5	1.5
男					
総 数	2.8	4.1	2.5	1.7	8.0
19才	0.1	0.2	-	-	-
20~24	4.8	4.5	5.2	5.6	6.7
25~29	2.5	2.0	2.9	-	4.4
30~34	5.2	6.3	4.9	4.6	18.7
35~39	5.0	12.1	4.6	17.2	13.0
40~44	4.7	5.3	4.6	4.4	11.8
45~49	1.9	5.5	1.7	4.8	8.0
50~54	1.4	7.5	1.3	4.1	4.8
55~59	2.0	2.2	1.1	2.6	2.8
60~64	0.7	1.2	0.6	1.3	2.2
65~69	0.7	1.3	0.5	1.7	1.6
70~	0.6	-	0.6	0.8	1.7
女					
総 数	2.4	4.1	2.4	1.0	5.1
19才	0.8	0.7	3.7	-	-
20~24	2.8	2.6	3.5	4.8	9.8
25~29	5.0	6.1	4.6	3.5	6.6
30~34	4.8	8.7	4.1	3.2	9.9
35~39	4.3	11.1	3.5	4.0	7.9
40~44	3.0	7.5	2.5	2.8	6.5
45~49	1.4	3.7	1.1	1.4	3.5
50~54	1.1	2.7	0.9	1.4	2.1
55~59	0.8	1.0	0.6	1.1	1.3
60~64	0.6	1.5	0.4	0.8	1.7
65~69	0.5	-	0.4	0.5	10.0
70~	0.5	-	0.6	0.4	1.4

図5 結婚について「不利な差別を受けたことがある」回答えたものの割合（配偶関係別）（全被爆者・男女の計）

